



とうめい



雛人形

足柄上郡開成町「瀬戸屋敷」で楽しい雛祭りを開催していると聞き、見学に行きました。そこでは竹を加工して舞台が作られ、その中に雛人形が座っており、その様子は今までに見たことがなく、これは珍しいと撮影しました。

フォトサークルA 角田 司郎

●目次

雛人形1P

医療記事2P

「せぼねの骨折にセメント治療を積極的に行っております」

内視鏡センターだより

補助具の使用で楽に行える大腸内視鏡検査

リハビリ通信「認知症サポーター養成講座」3P

院内感染対策講演会

老健さつきの里あつぎ4P

あつぎ介護職員研修センター

新しい健診車がやって来ました！

特集 とうめい厚木クリニック5P
各部署の一年

かけはし ～登録医紹介～6P
第4回 写真コンテスト開催

働く仲間7P
ふるさと自慢
ミャンマー通信

ペットのはなし8P
編集後記
関連施設一覧

せぼねの骨折にセメント治療を 積極的に行っております

整形外科◆沼口 大輔

脊椎外科医の沼口といいます。東京女子医大病院から当院に赴任して3年が経つところです。今まで、せぼねの骨折＝圧迫骨折は「年だから仕方ない」とあきらめられていたものです。確かに、多発骨折の場合、その一面もありますが、初期なのにその言葉を信じこまされて痛みを我慢している方が多数いらっしやいます。今回は当院で行なっているセメント治療（BKP）について紹介します。

を中から固めます。手術時間は30分から45分程、ごく少量な出血で済みます。

この治療の圧倒的な利点は二つあります。

- 1、低侵襲手術時間短い、傷が小さい、出血少ない
- 2、痛みの消失が速い（痛みで寝たきりだった方が翌日には座れる事多い）

痛みについては、もともと歩いていた人が骨折し痛くて入院した例を挙げます。入院後痛みで寝たきりで起き上がれない方が手術翌日には座れる、1～2週で歩ける程です。

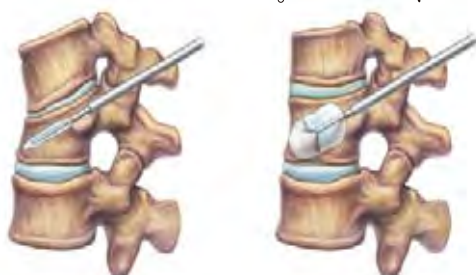
BKPとは手術治療の一種です。折れた椎体（背骨のひとつの骨）に背中から二つの小さな傷（約2センチ程度）を作り、背骨の骨折部まで細い管を通します。骨折部に内側から特殊な風船を膨らませて内部を膨らませ、そのスペースにセメントを入れてグラグラした骨折部

御高齢になり、腰痛をきっかけに寝ている時間が長くなると、食事が下がり、認知機能も下がる

事がよくあります。

私たちはすべての患者様にBKPが適応になるとは考えておりませんが、患者様が耐え忍んでいて本当は治る患者様がいると確信しています。今後ともBKPで1人でも多くの患者様、近隣の内科、整形外科開業医先生方に「早く相談すれば良かった」と言っていただけと考えております。

相談は月曜、木曜午前外来
沼口までは是非
来てください。



内視鏡センターだより 第3回

補助具の使用で楽に行える大腸内視鏡検査

新年度を迎えました。当センター一同、気持ちも新たに患者様が「安心・安全・安楽」に検査を受けられるよう対応してまいります。

今回は、患者様が「大腸内視鏡検査（CF）」を安楽に受けられるよう補助具を考案しましたので紹介します。

CFを受けられた方は、経験あるかと思いますが、患者様には仰向けで臥床し左下肢を立て、右下肢を左膝に組んで頂く場面があります。その際に、支えがないと足が滑りやすく体位保持が困難となります。看護師は体勢が崩れないようフォローしますが患者様の負担も大きくなります。体勢が崩れた場合は修正しますが検査の進行にも支障が出ます。そのため下肢を支える補助具を考案し使用したところ、患者様・看護師の負担が軽減し施行医も検査をスムーズに進められるなど3者に高評価でした。是非、当センターで少しでも安楽なCFを受けてみて下さい。

その際は、感想を頂けると幸いです。この取り組みは院内での看護部看護研究発表会で発表し一定の評価を得ました。

今後は院外発表に向けてより良い発表ができるよう取り組んでいくと共に、検査看護の質の向上に励んでいきたいと思ひます。

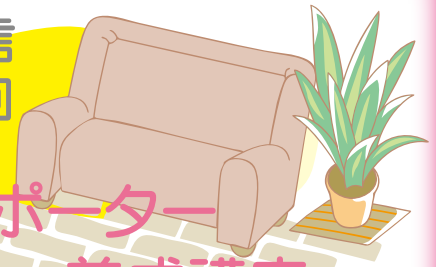
消化器内視鏡技師

（看護師） 平井 弘子



リハビリ通信 第41回

認知症サポーター 養成講座



ていれば「尊厳ある暮らし」を守ることができるのです。

認知症には、アルツハイマー病（50%程度）、レビー小体型認知症（20%程度）、脳血管性認知症（20%程度）その他の認知症（10%程度）があります。

私達の脳は、運動や記憶・感覚・思考・感情・からだの調節をコントロールしていますが、脳の病気によって様々な認知症状が現われます。

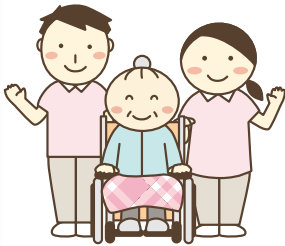
中核症状は、記憶障害や見当識障害、失行、失認、失語、実行機能障害などがあります。

例えば皆さんが気になる記憶障害、加齢による物忘れでは「目の前の人の名前が思い出せない」「何を食べたか思い出せない」「何を食べたか思い出せない」ことがありますが、認知症による記憶障害では、「目の前の人が誰なのかわからない」「食べたことじたいを忘れている」などの違いがあります。

行動や心理症状（BPSD）

としては、性格や環境、人間関係などの要因により、不安やうつ状態、幻覚・妄想、徘徊、興奮・暴力、不潔行為など状態が起きます。これらの症状は、周囲の対応によって改善される可能性もあります。

認知症の方への支援には、障害を理解し、さりげなく援助することが大切です。誰でも認知症になる可能性はあります。認知症の人がいるのではなく、認知症という病気になっただけです。認知症の方の障害を補いながら、さりげなく、自然に支援することが大切です。まさにこれが、認知症の人やその家族の応援者「認知症サポーター」の役割です。皆さんも、認知症サポーター養成講座を受講してみてもいいでしょう。 田中 勇



院内感染対策講演会

院内感染対策委員会では、年2回の研修会を開催しています

今年度の1回目は「結核の現状と対策について」でした。結核は過去の疾患ではなく、現在も存在している世界の感染症による死亡率は3位以内に入っています。当院は結核病床を有する病院ではありませんが、高齢者の結核発症率の増加に伴い入院時の喀痰検査で結核を疑う報告が年間20件以上あります。その後の確定診断のための検査方法についての内容でした。

2回目は、当院と感染防止対策加算で相互評価を実施している鶴巻温泉病院の感染管理室長近藤成美先生をお招きして「感染制御の基本」について講演いただきました。標準予防策の基軸は ①手指衛生 ②環境整備 ③抗菌薬適正使用の3点をインフルエンザアウトブレイク事例と感染症を疑ったときのアプローチから具体的にお話いただきました。

難しそうな内容と思った方もいらっしゃると思いますが、聞いていると当たり前に行なわなく



てはいけないこと、自分の行動を再確認する内容が多く、熱心にメモを取っている方が見受けられました。

院内感染対策研修は、「診療報酬上で決まっているから参加する」ではなく、職員の意見や希望を取り入れて「聞きたい」研修内容を今後も選択していきたいと思っています。

院内感染対策室 中嶋 君江

★ あつぎ介護職員研修センター ★

当センターは、2015年11月に県知事の指定を受け開設いたしました。20日間の通学で介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級)を修了し、資格を取得することが出来ます。1月・7月の年2回開講でこれまでに5回実施し、20歳代前半から70歳代の方まで、26名が課程修了しています。

修了者の多くは、介護職員として当施設をはじめ、市内介護施設、障害者施設にて活躍されています。又、中にはご家族の介護に学びを活かしている

修了生もいます。

一昨年には修了後のフォローアップ研修も行いました。久しぶりに会うメンバーは日々の業務の悩みや現状を話し合い、今後に向けお互いエールを交わしていました。

2025年には介護職員が全国で37万人不足するといわれています。住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう利用者・ご家族に寄り添える介護職員の育成を行っていききたいと思います。



新しい健診車がやって来ました!

平成30年2月27日、健診センターに新しい健診車が納車されました。今度の車は、健診センタースタッフが知恵を出し合い、使い勝手の良い多機能な車となっております。

まずは最新型の機器を搭載した、胸部レントゲンと胃部レントゲン。撮影する部屋が分かれており、同時に両方の撮影を行うことが出来て効率的です。さらに、安全のため撮影時に受診者様をモニターで管理・カーテンで仕切ることにより車内を多彩にレイアウト・寒い冬場のための足元ヒーター・必要に応じて流し台の設置など機能満載です。

外観は、薄いピンクのボディー両サイドに健診センターのロゴマーク、後ろには厚木市のマスコットキャラクター「あゆコロちゃん」と日本とミャンマー共和国の国旗が大きく描がかれ、親しみ易いのも大きなアピールポイントです。

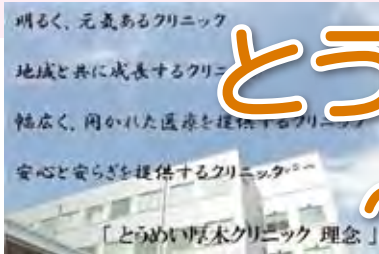
この健診車が厚木の街を走り、契約企業様の出張健診にお伺い致します。これからもよろしくお願い致します。

健診センター



とうめい厚木クリニック

～各部署の一年～



■事務部

昨年は新電子カルテの導入を行いました。導入当初は職員のパソコン操作が不慣れなため患者さまには大変ご迷惑をお掛けし申し訳ございませんでした。

導入から数ヶ月が経過し、受付から診療、診療から会計と少しずつではありますがスムーズに行うことが出来ていると実感しています。まだ課題は残っておりますが患者さまの負担にならないよう今後も課題解決に取り組んでまいります。

また、待合室に海水魚の水槽を設置しました。図書を置いていた場所に置きましたが、患者さまからの評判も良く、鑑賞されている方も増えて投書にも良い意見を頂くようになりました。小児科に通われているお子さんにも観ていただいているようです。

■看護部

健康に暮らすための支援、重症化予防対策の視点を持ち、患者さまが少しでも安心してご自宅で生活できるように、外来における継続看護の推進に努力しました。外来受診の際、何かご心配、不安な事があれば、いつでも相談していただけだと思います。各科担当の看護師、糖

尿病療養指導士も日々活躍しております。必要時は関係部署と相談し情報共有をして解決策を考えています。又、曜日によっては、処置室の業務量も多くなり、検査説明、入院説明等お待たせしていますが今後、他部署とも相談し、説明の場所等を考え、待ち時間の短縮につなげていきます。

■放射線科

当科では「病気を見逃さないためのチーム医療」を心がけています。検査後の画像診断補助も我々技師の役割と捉え積極的に診断に関わるように取り組んでいます。装置面では従来よりも正確な骨密度が測れ、全身の脊椎や下肢を数秒で一度に撮影可能かつCTとは異なる断層撮影もできる装置を昨年導入しています。断層撮影とは金属などのインプラントが撮影範囲内にある場合にとっても有効な画像検査です。CT装置も機器が新しくなり、心臓の血管を3D画像で確認できる検査も行っています。それら新しい機器を使いこなし安心満足な医療をこれからも提供していきたいと思えます。

■検査科

当科では「患者さまをお待たせしない」を念頭に置き業務にあたっています。昨年は検体検査システムを更新し業務の効率化を行い、さらに免疫検査自動測定装置も導入しました。これらハード面の強化により、従来結果報告までに数日を要していた「ホルモン検査、腫瘍マーカー検査」など、1時間以内に報告することが可能になりました。他にも院内測定項目を大幅に増やしたことで、診断・治療・効果判定などの診療にかかる時間の短縮や、患者さまの来院回数を減らすことに貢献できた一年だったと思います。

■リハビリテーション科

今年も、「運動療法」「物理療法（電気・温熱）」をはじめとした外来リハビリテーション実施はもちろんの事、地域住民の健康増進、未病への取り組みとして、「いきいき健康教室」や「慢性腎臓病教室」の実施、リハビリテーション科に通院されていない外来受診に来られた方への情報提供として、年4回の「リハビリ通信」を発行し、地域の方へ健康に生活するためのサポートに取り組めた一年でした。

■医療福祉相談室

医療福祉相談室では、クリニック通院中の方の治療や療養の妨げとなる生活上の問題を共に考え、解決の糸口を見出せるよう、社会福祉の立場からお手伝いをしています。昨年度は、地域住民の方を対象に「慢性腎臓病教室」「自分と向き合うエディンングノート」の講座、「病院との付き合い方」に関する講話などの地域活動も行いました。

治療を受けていく中で生活上お困りの事があれば、医療福祉相談室へお気軽にご相談下さい。

■統合医療療科

クリニック4階では、はりきゅうマッサージなど東洋医学での施術を行っております。当クリニックでお罹りの痛みや、日頃の気になる症状、体質改善などさまざまな症状に向き合いアプローチします。

医師と連携し、安心・安全・清潔な環境で施術を行います。また使用している鍼は髪の毛ほどの細さで痛みが少なく、やさしい施術を心がけております。患者さんお一人おひとりの日々の症状緩和の選択枝の一つとなればと取り組んでおります。

かけはし 登録医紹介

内科クリニック 光ヶ丘医院

vol. 21

院長 老山 大輔



《自己紹介》

平成6年東海大学医学部卒業
慈恵医大第三病院、富士市
立中央病院などを経て現職

内科専門医
消化器病専門医
漢方専門医

こんにちは。厚木市恩名にあります光ヶ丘医院の老山大輔と申します。祖父がこの地に開業したのが昭和15年ですから、今年で78年になります。厚木市の中では、古くからある医院の一つだと思います。

診療は一般内科の外来診療と訪問診療を主に行っております。標榜科は内科のみですが、小児科や心療内科、皮膚科の患者様も来院され、可能な範囲で診させて頂いております。診療では、疾患にもよりますが、漢方治療を積極的に取り入れているところが特色かと思います。診察には少々時間を要してしましますが、漢方治療は多剤併用の解消に役立つこともありますし、時に思わぬ副次的効果を認めることもあります。

訪問診療は、かつての医局の同僚である鎌尾宏子医師とともに、施設にご入所され

《所在地》

〒243-0032

厚木市恩名2-23-26（厚木高校近く）

《診察時間》

午前9時～12時

午後3時30分～6時30分

木曜午後、土曜午後、日曜祝日は休診



ている方を中心に行っております。施設、在宅でのお看取りも行っております。

東名厚木病院の先生方、地域連携室の皆様方にはいつも大変お世話になっております。

日頃は救急の依頼にも快く対応して頂きまして、誠にありがとうございます。

この場をお借りして御礼申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

第4回

写真コンテスト開催

平成29年12月16日（土）三思会康仁会合同忘年会の余興の一つとして、毎年恒例の写真サークル主催「写真コンテスト」を行いました。写真コンテストとは言っても厳かなものではなく、普段撮りためた写真の中で「いいね！」と思えるものがあつたら、出展してみてくださいという趣旨のものです。なので、デジカメ一眼で撮った写真より、スマートフォンで撮影した写真が半数近くありました。

今回は流行語大賞の「インスタ映え」

のお陰か、作品数が過去最大でした。

定番の動物や子供から、工夫を凝らした風景写真や高度な技術が必要な夜景などが増えてきました。海外の風景写真もありました。表彰式は写真をプロジェクターに投影しながら行い、今まで以上に格調高い式が行えました。参加してくれたフォトグラファー、投票していただいた職員の皆さま、そして裏方で準備してくれたサークルメンバーに感謝いたします。

写真サークル部長

杉田 章



働く仲間

入職／平成29年9月1日

氏名／**券田 典子**

栄養科



私は食べることが好きなので、食を通じて人と関わっていきいたいという思いから、管理栄養士という仕事を選びました。今まで特別養護老人ホームや病院で経験を積んできました。そこで働いていく中で臨床の知識が不足していると感じ、約4年にわたる研修を経て昨年6月に「臨床栄養師」認定資格を取得しました。

資格取得後、当院で昨年9月にNST専従として採用され、入職してもうすぐ半年が経ちます。現在、来年度のNST加算算定開始に向けて準備を行っている所です。日々色々な症例に立ち向かい、様々な人に支えられ奮闘している毎日です。NSTの知識はまだまだ浅く、もっと勉強に励まなければならないと気づかされます。もっと多くの知識や経験を得て、チーム医療に貢献していきたいです。また他職種から信頼をいただき、困った時はすぐにNST専従に相談しよう！と思ってもらえるように頑張っていきたいです。今後ともご指導よろしくお願いいたします。

入職／平成29年4月1日

氏名／**正岡 晴美**

医事課 医師事務作業補助



『医事課』と聞くと、皆様は何となく業務内容をご存知かと思います。では、『医師事務作業補助』となりますといかがでしょうか。院内でも内線電話の取次ぎの際、「イシジマさん？からお電話です」と、部署名を聞き間違えられることがあるほです。

平成20年の診療報酬改定時に、勤務医の負担軽減を目的として新設されたこの職種は、医師の過重労働を軽減するために医師の支援（主に事務的作業の補助）を行っております。この職種は設置されて10年になりますが、未だ業務内容が確立されておらず、私達も試行錯誤の状態です。

しかし医師の業務を裏から拝見しておりますと、外から見えないところでこんなにも日々奮闘されているのかと、頭が下がる思いです。

患者さんのために頑張る医師が、少しでも多く、患者さんのための時間を取れるよう、私達ができることは？を常に念頭に置き、努めて参ります。

ふるさと自慢

感謝したいふるさと



私は沖縄県宮古島の出身です。宮古島は沖縄本島と石垣島のちょうど真ん中に位置し、宮古島のほかに6つの島で構成されています。最近では観光地としてもメディアなどでも取り上げられることも多くなり、宮古島へ移住する方も増えてきました。

宮古島には大きな商業施設や観光施設もあまりないですが、宮古ブルーと言われるほど特徴的な美しい海が自慢で、波の音や美しい海を見ているだけで癒されることは間違いのないと思います。私も帰省した時には必ずと

言っているほど海へ行き、宮古島の海からパワーをもらっています。海以外にものどかなサトウキビ畑や夜には都会では見られないほどの綺麗な星空も広がり、いろんな景色を見ることができる島です。絶景を見ながらドライブしたり、おいしい島グルメを楽しんだりすることはもちろんですが、宮古島のゆったりと流れる時間を過ごしていると普段の日常を忘れさせてくれます。

皆さんも日々の疲れを癒したいときには宮古島へ訪れてみてはいかがでしょうか。

救急部 齋藤 美紀

厚木からミヤンマーへ 三思会 ミヤンマー 健診クリニック

ミヤンマーでは、評判の良いベテラン医師ほどたくさん病院を掛け持ちしています。午前はA病院、午後二時間はB、夕方からはCといった具合に、早朝から夜までフル稼働です。

患者さんもまた医師を追いかけます。例えば、胃が痛い場合、周りから評判の良い胃の専門医の一週間のスケジュールを聞き取ります。そして、自分が通える日時にその医師がいる病院に予約を入れます。

一般的に診療代はすべて医師の収入になるため、より多くの患者を診ることが高収入につながります。評判の良い医師は一日に二百から三百もの患者を診るため、一人当たりわずかに数秒というケースもあります。患者さんは症状と対処法、処方薬の説明を求めバンコクへと流れます。

ヤンゴンの心臓で有名な私立病院（写真）には、正面玄関に沢山の青いタイルが並びます。医師の経歴、英国の博士号で教授レベルなどが一目で分かり、各病院のPRにもなっています。

完全歩合制のミヤンマーから見ると、日本の仕組みがまた新たに浮かび上がってくるかもしれません。

法人本部

廣瀬 さやか



編集後記



●新年度のスタートです。今年も多くの若者が各々の思いを胸に三思会に入職されました。皆さんの成長が三思会を支え、地域の医療を支えているのです。フレー フレー フレッシュマン!!

(永遠の若大将)



●新型小田急ロマンスカー・GSEが既に運行していますね。鮮やかなオレンジ系の色が目を引きます。実はローズ系、ボルドー系など3色がカラーリングされているそうです。新入職の方を迎え、私も進化していかなくちゃね...

(リトルミイ)



●大山で撮影した初日の出の写真です。初日の出を拝むようになったのは娘が小学校一年生からで、毎年元旦に二人で見に行きました。その娘もとうとう小学校の卒業式を迎えました。よく6年間もこんな父についてきてくれたなと思います。4月から新たなステージで頑張っ

け、と思う今日この頃です。
(自転車ツーキニスト)



●ペットのはなし、1回目のミニチュアダックスフンドから始まり、ついに51回目を迎えました! これからも長く続け、たくさん癒されたいと思います。

(豆大福)



ペットのはなし

その51

3匹目の愛犬

我が家には3匹目の愛犬がいます。秦野生まれ、3月で6歳のハヌルという名前です。

先代の2匹は純血種で病気がちだったので、3匹目はミックスにしました。とても元気です。女の子で気が強いわりに散歩が苦手ですが、ドライブが大好きです。

私より主人が好きです。仕事に出かける時は全く無関心にしていますが、帰ったら立って凄い勢いで迎えてくれます。犬も1匹だと認知症になりやすいので、もう1匹欲しいけれど、今の子は私達が新しい犬を可愛がると、嫉妬して苛めそうで暫く飼えません。写真はトリミング直後です。 山本 麗子



各施設の連絡先

東名厚木病院

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1771 FAX.046-228-0396
<http://www.tomei.or.jp/hospital/>

とうめい厚木クリニック

〒243-0034 厚木市船子237
TEL.046-229-3377 FAX.046-228-1935
<http://www.tomei.or.jp/clinic/>

人工透析センター

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1939 FAX.046-229-1939
<http://www.tomei.or.jp/toseki/>

愛川クリニック

〒243-0303 愛川町中津2035-1
TEL.046-284-5225 FAX.046-284-2772
<http://www.tomei.or.jp/aikawa/>

とうめい綾瀬腎クリニック

〒252-1103 綾瀬市深谷3803-1
TEL.0467-70-1115 FAX.0467-70-2115
https://www.tomei.or.jp/ayase_clinic/index.pdf

東名厚木メディカルサテライトクリニック 総合健診センター

〒243-0034 厚木市船子224
TEL.046-229-1937 FAX.046-227-0677
<http://www.tomei.or.jp/tams/>

新横浜メディカルサテライト 健診センター

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-11 金子第一ビル4F
TEL.045-471-3855 FAX.045-471-3856
<http://syms.tomei.or.jp>

介護老人保健施設 さつきの里あつぎ

〒243-0034 厚木市船子322-1
TEL.046-227-1188 FAX.046-227-0033
<http://www.tomei.or.jp/fukushi/roken/>

南毛利地域包括支援センター

〒243-0039 厚木市温水西2-27-38 カーネーションパーク1階
TEL.046-250-1108 FAX.046-250-1105
<http://www.tomei.or.jp/fukushi/houkatu/>

訪問看護ステーション さつき

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-228-6556 FAX.046-228-6557
<http://www.tomei.or.jp/fukushi/satuki/>

東名厚木病院居宅介護支援センター

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-227-6557 FAX.046-228-6557
<http://www.tomei.or.jp/fukushi/kyotaku/>

複合型施設マザーホーム戸室

〒243-0031 厚木市戸室1-29-1
1F 多機能型事業所「にじいろ」
TEL.046-222-7772
看護小規模多機能型居宅介護事業「いわしぐも」
TEL.046-222-7773
2F 訪問看護ステーション「もみじ」
TEL.046-294-1177 FAX.046-294-1178
3・4F サービス付き高齢者向け住宅「マザーホーム戸室」
TEL.046-222-7755 FAX.046-222-7756



バスの時刻表及びルートが変わりました。

●無料送迎バスを運行しています。
詳しくはホームページの
無料送迎バス時刻表をご覧ください。
<http://www.tomei.or.jp/>